



特定非営利活動法人



<http://nepai-mika.jp>

平成25年 年未号 NO.50

# ネパール・ミカの会

平成25年11月20日発行 194-0035 東京都町田市忠生2-5-36 tel042-791-0602



## 「こだわりの17年」

NPO法人ネパール・ミカの会

理事長 齋藤 謹也

ネパールそれもルンビニ地方にこだわって17年。あつという間の歲月でしたが、でも楽しい日々の積み重ねでした。ビスタリ、ビスタリー。ゆっくり、ゆっくりと。でも、絶える事無く続けてきました。中心となる顔ぶれが変わる事無くすすんできましたが、それだけ高齢化がすすんできたとも言えるでしょう。会のこれからの事も気になります。

でも、やはり私達は無理無く、ささやかに、ゆっくりとすすんでいきましょう。

それでも遠い国、世界の屋根の国、ヒマラヤの人々とむすばれている喜びを共に感じてくださる方。どうかお申し出ください。経済的豊かさではなく、心の豊かさで「幸せ」を深く感じるこそ、いよいよ大事な時期にさしかかってきたように思います。

私達はお釈迦様生誕地・ルンビニの子ども達と強いキズナで結ばれている事を幸せに思います。

2013年10月 中間調査訪問18学校の所在地 GPS Garmin 62SC

## 「第17次・ネパール教育支援の旅」のお誘い

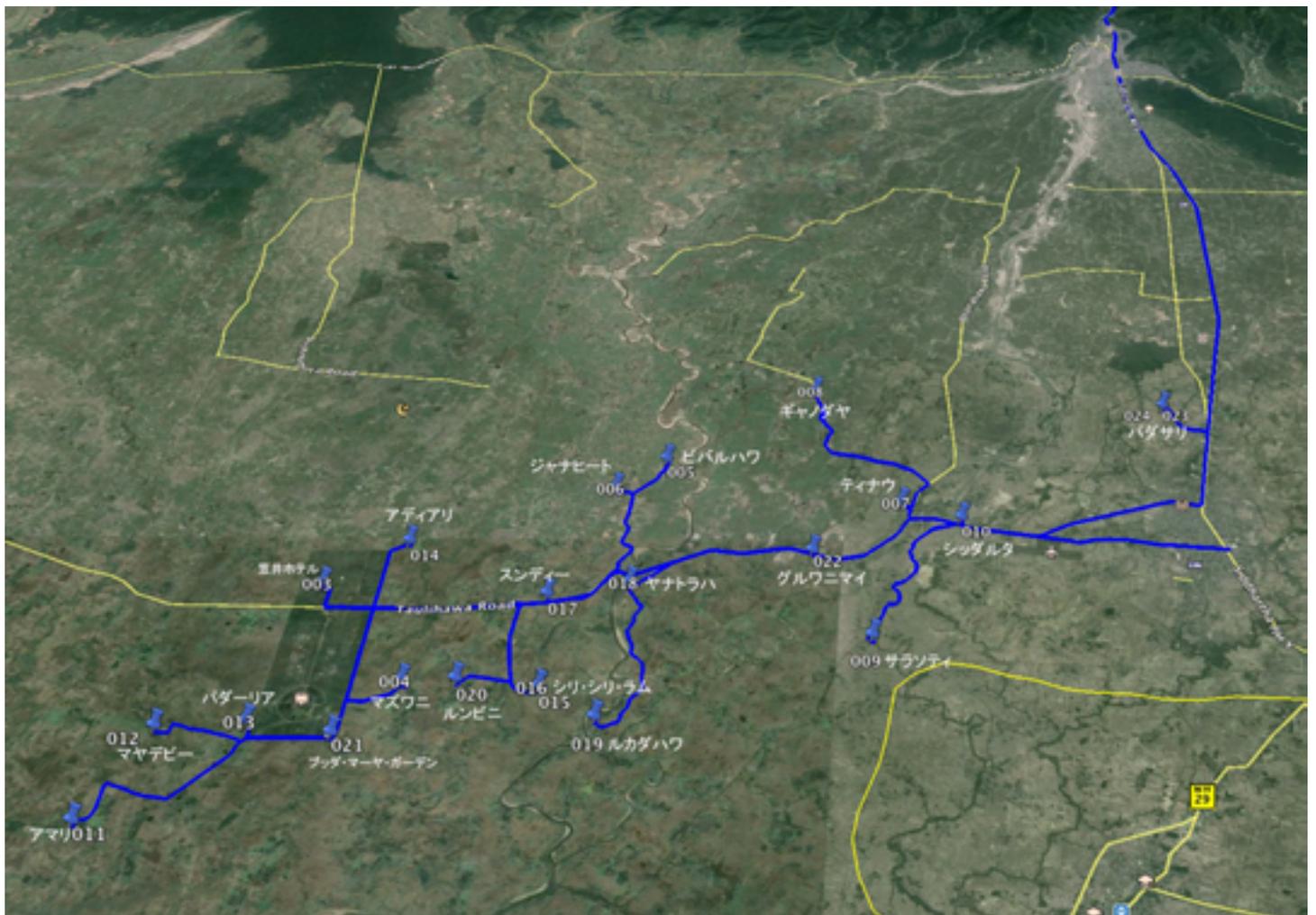
毎年、実施している教育支援の旅が近づいてきています。ルンビニ サラソティ校落成式の出席もしたいと思います。日程は10日間くらいと考えています。2014年2月20日から又は2014年3月5日からの予定です。参加を考えている人は12月20日迄に連絡願います。

中野 千恵子 042-773-3203

## ★★フィリピンレイテ島台風被害の緊急募金について★★

報道でご存知のように、台風30号により甚大な被害が出ています。そこで悲惨な状況にある現地の人々に心ばかりでもお役に立てばと募金を開始いたします。どうぞ、ご理解の上ご協力をお願い申し上げます。寄付金振り込み用紙を同封させていただきます。

12月8日は「夢広場」終了後忘年会です。



# ルンビニ地区「支援校の基礎調査結果」と在籍生徒数の推移

西澤 忠

今回の中間調査に合わせて今までネパール・ミカの会が校舎を建設した学校（12校）及び建設支援候補校（6校）について調査を実施した。教師の不在であった候補校1校を除き17校から調査結果を得たので、その概要及び建設当初（1998年）からの在籍生徒数推移を報告します。

調査項目は基礎的事項である

- (1) 学校名、(2) 学校所在地、(3) 村の人口（男、女）、(4) 校長名、(5) 教師数（男、女）、(6) 教室数、(7) 校長室の有無、(8) 教員室の有無、(9) 校庭の有無、(10) 学年別生徒数（男、女）などである。

調査表の例を表1に示す。中間調査を担当した加藤理事の話では、学校は調査表の記入を短時間で出来たようである。このことは学校側にこれらの調査事項については整備されていると思われること、その上伊藤理事の協力により質問をネパール語も併記したので、より円滑に回答ができたものと推察される。更に回答はネパール語で記入されているので、ヌルブ ラマ理事に日本語に翻訳して頂いた。

調査結果の概要を表2に示す。全体でみると既建設校の在籍生徒数は小学生以下を含め5、350名、支援候補校は1、350名となっている。特徴的なことは女生徒の在籍数が小学校で男生徒比15%、中学校のそれは10%程度それぞれ多いことである。これが高等学校（9・10学年）では女生徒の在籍数は男生徒の約半数となっている。また候補校はまだ小学校が開設されているのみだが、既に1教室当たりの生徒数が50名を超えていることから、中学校の開設には教室が必要となろう。

表2 調査結果概要

調査項目	既建設校(12校)	建設候補校(5校)
教師数(男・女)	130名	31名
教室数	104室	22室
図書室(館)設置校数	4校	1校
小学生以下の児童	418名	228名
生徒数 小学校 男	1,546名	503名
女	1,772名	621名
計	3,318名	1,124名
生徒数 中学校 男	611名	
女	673名	
計	1,284名	
生徒数 高等学校 男	218名	
女	111名	
計	329名	

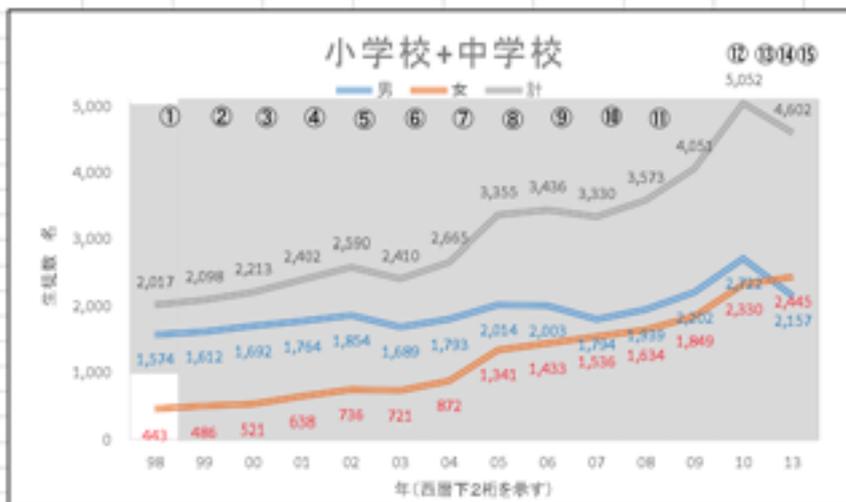
又、今回の調査で学校の所在している地域・村の人口は残念ながら回答が得られなかった。今後の調査課題として地域の人口を把握・分析し、これからのネパール・ミカの会活動の効率的推進に寄与出来ればと思っている。

次にネパール・ミカの会が1998年から2013年まで16年間に校舎建設した学校の（小学生+中学生）生徒数の推移を図1に示した。（2011年、2012年はデータ収集できず除外）図で見ると1998年の男女生徒数は2千人余であったが、2013年には4千6百人と2.3倍（プラス2千6百人）に増加している。男生徒は580名増えた（年平均40名増）のに対し、女生徒は2千名（年平均130名増）と大幅な増加である。

特に2005年に第6校目として「シリ・アマリ小学校」を建設した年（図中⑦）から、女生徒数が増加しだして2008年までの間前年比約100名の増、2009年には約200名増加した。そして2013年に女生徒数が男生徒数を約300名上回った。内訳としてこのグラフでは見えないが小学校で230名、中学校で70名それぞれ女生徒数が男生徒数を超えている。さまざまな社会的制約のあるネパールにおいて、女子児童の就学者が急増していることは驚嘆に値する。

ネパール・ミカの会などの地道な活動によって、晴雨関係なく机に向かって勉強ができた、皆と同じ服装で学校に行けたりするなどの整備が図られた環境で学ぶ子供達を目の当たりにして、この地域の人たちの教育に対する考えも変わって来ているのではないと思われる。

つまり大人たちの識字率の向上に子供達の教育成果が好影響を及ぼしていると言えるのではなかろうか。



- ① シリ・マズワニ小学校建設
- ② シリ・ルンビニ小、シリ・シリラム小、シリ・グルワニマイ小建設
- ③ シリ・マズワニ中建設
- ④ シリ・アデアリ小、シリ・ヤナトハラスクール建設
- ⑤ シリ・スندی小建設
- ⑥ 建設無し
- ⑦ シリ・アマリ小、シリ・マズワニ高図書館建設
- ⑧ 建設無し
- ⑨ 建設無し
- ⑩ シリ・グルワニマイ図書館建設
- ⑪ シリ・マヤデビ小建設
- ⑫ シリ・ティナウ小建設
- ⑬ シリ・ビバルハフ小中建設(2011年)
- ⑭ シリ・シッダルトハンデ小建設(2012年)
- ⑮ シリ・ティナウ小図書館建設(2012年)

図1 校舎建設校の生徒数推移（小・中学校）

次に図2に中等教育（第9・10学年）が行われている2校の生徒数推移を示す。

1998年に“0”だった生徒が2013年には300名を超える生徒が学校で勉強している。特に2009年から男女とも急増してきているが、今回の調査で既建設支援校の第7学年に423名、第8学年に328名の児童就学が判明しており、これら子供達を受け入れる教室は勿論、教師他教育体制の整備が望まれる。

期間：2013年10月1日～10月9日  
調査会員：ヌルブ・ラマ 加藤誠一

ルンビニ地区訪問順・既支援校及び支援候補校

「2013.10.02」

1.シリ・マズワニ小学校・中学校・高校  
国際ソロプチミスト町田一さつきの感謝の手紙を預かる。  
マズワニ高校生に制服 出席84人欠席4人 合計88人  
ノートをプレゼント。要望：正面のゲート

2.ビバルハワ小学校  
2011年3月ひろしま祈りの石助成金で建設。  
要望：図書館の建設

3.ジャナヒート小学校  
支援を受け建設中の教室が途中で援助打ち切りのため基礎工事のみ完成。村の予算で建築中の2教室が予算打ち切りで内装を残して中断、使用不可。  
要望：完成させて図書館か中学校にしたい。概算50万円ほどで内装、椅子、机がそろおう。

4.ティナウ小学校・図書館  
図書館には何も無く、機能していない。  
要望：図書、ラック、椅子、机。女子用のトイレ

5.ギャノダヤ小学校  
支援希望校の一つ。要望：図書館新設

6.サラソティ小学校  
学校建設決定校です。広い敷地で良い環境にあります。  
校舎の色はグリーンを希望。  
小学1年生と2年生にノートをプレゼントする。

7.シリ・シッタルタ小学校・中学校  
要望：図書館新設

「2013.10.03」

8.シリ・アマリ小学校  
補修が必要。ペイント、シロアリ。建設中の校舎あり、国からの予算が無くなって中断。  
要望：30万円の予算で工事継続、使用可能になる。

9.シリ・マヤデビー小学校  
2009年建設の校舎は奇麗に保たれています。  
要望：敷地の塀、門扉

10.パダリア小学校  
未支援校。224名の児童で女子が多い。  
要望：制服、ノート等の学用品。図書。トイレなど。

11.シリ・アデアリ小学校  
教員室、図書室とても奇麗に維持されている。来年から高校も開校予定。  
要望：現在の校舎の上に3教室増築したい。柵とゲート。

12.シリ・シリ・ラム小学校  
要望：現在の建物を改装して図書館にしたい。  
図書と椅子、机

13.シリ・スندیー小学校・中学校  
ソマイ・プラサド校長退職予定。小学校・中学校で710人。  
要望：図書館。校舎の補修、窓枠、ペイント、床など

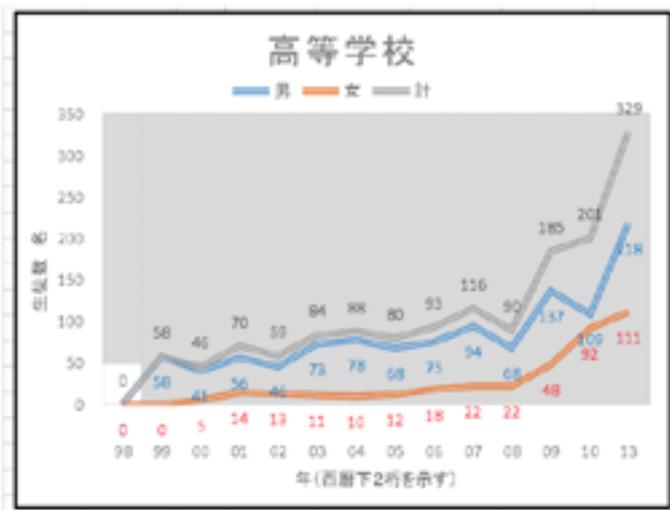


図2 高等学校（2校）の生徒数推移

以上今回の中間調査で実施した「基礎調査の概要」及びネパール・ミカの会16年の活動による既建設校生徒数の増加の状況について、若干の解説を含めて述べた。今後会の活動等に参考にできれば幸いである。



14. シリ・ヤナトラハ・スクール  
約800名が通学。電気も有り扇風機が回っていました。  
要望：既存の建物を図書館に改装したい。
15. ルカダハワ小学校・中学校  
未支援校700名通学。土地は広いです。  
来年高校一年生を迎える。  
要望：教室建設

16. シリ・ルンビニ小学校  
要望：教員室の上に教室建設。概算30万円。  
図書館新設要請。

「2013.10.04」

17. シリ・グルワニマイ小学校  
四ツ葉会図書館。時計は故障、アクリル板破損。電気あり。  
要望：図書、TV。

18. シリ・パダサリ小学校  
未支援校。校庭広い。バイラワの郊外。英語教育。  
要望：教室建設。

特記：

- ★マズワニ高校の制服支援が間に合い、嬉しそうな高校生に会えました。
- ★15のルカダハワ小学校・中学校では先生に会えず基本調査票を貰えませんでした。  
他の17校は全校提出してくれました。
- ★すべて学校の所在地をGPSで測定して来ました。
- ★ノートですが、業者の手違いで修正前の状態で印刷されていました。  
印刷された一部（180冊は手荷物でルンビニに運び、手渡ししました。残りはミカの会の指示待ちです。）
- ★元ヤナトラハの校長先生が選挙に立候補するそうです。
- ★ブッダ・マヤー・ガーデンズホテルでマズワニ高校卒業生が元気に働いていました。
- ★他団体の学校建設支援は一段落してしまったようで支援要請は益々増えると思われそうです。
- ★傾向としてトイレに関心が持たれ始めています。

「2013.10.04」 タンセン懇談会

- Millennium Higher Secondary Schoolにて懇談  
チョレシヨル・シャルマン氏 元大学学長  
タンカ氏 大学国語教授  
ビヌス・プルサード・ギャワリ氏 大学数学教授  
アディテ・カナル氏 会計

いままでの図書支援に感謝します。御陰で特別支援がなくとも大きな支障は無くなった。ですから支援の内容はミカの会にお任せします。交流は続けていきたいものです。要望の図書リストが遅くなっているのはある意味遠慮？微妙な判断です。

- モホン女子校  
ダサインの直前でもあり学生の姿は有りませんでした。学長さんとは会う事が出来図書支援に対して感謝の言葉を受け取りました。また奨学金等の支援があると嬉しいと言っておりました。

- ナグロレストランにて  
ケサブラズ・シャルマ氏 トリヴァン大学マルチプル学長  
タンカプルサード・パンタ氏 トリヴァン大学マルチプル副学長

長年の図書支援に対して感謝の言葉を頂きました。あたらしくビジネスマネジメント科（4年間）を新設するので図書の支援は有り難いので継続して欲しい。

世界標準である16年にして行く。10+2 大学4年 合計16年。  
10+2の前まではネパールの暦の正月（4月？）に進級。  
10+2 からは7月（6月がSLCの発表）  
従って高校から10+2に進学する場合3ヶ月ほどブランクが有る事になる。

ネパールでは選挙が行われようとしています。その影響でこの期間も非常に退廃的で何も決められないという雰囲気が溢れています。学長でさえ無気力感があります。大学内は勉強しない学生で溢れ、政治活動をキャンパスに持ち込んでいます。キャンパス内に政党の看板が立ち、政党を指示する学生の事務所まであります。

学生のグループは進学希望者の入学の許可権まで行使するそうです。

ルンビニと比べ経済的には豊かに見えますが、混沌とした社会になっています。優秀な人材は国を出て行きます。残る人たちは空白の無駄な時間を過ごさざるを得ないと自覚しています。不幸な事です。（先生方の話の要約です）

\*\*\*\*\* 11 月度理事会ニュース \*\*\*\*\*

☆☆☆加藤・ラマ理事 2013 年中間調査報告！☆☆☆

10月9日から中間調査。ルンビニ・タンセンの訪問調査を行って来ました。その報告を理事会で受けました。

☆☆☆今年度建設予定はサラソティ小学校☆☆☆

建築資材等問題を抱えておりますが、来春の教育支援の旅までに完成するよう努力しています。

☆☆☆シリ・スندی小・中学校補修工事 ☆☆☆

痛みが激しいスندی小・中学校の補修工事をする事が決定しました。熱心な校長先生もいよいよ定年退職のようです。

☆☆☆ジャナヒート小学校補修工事 ☆☆☆

村の予算の枯渇で中止になっている2教室を支援完成させる事を決定しました。学校側では完成したら中学校として開講したいと考えています。

☆☆☆第17次ネパール教育支援の旅 ☆☆☆

恒例の支援の旅の参加募集を開始します。

「事務局便り」

10月はまちだ大道芸と相模原国際交流フェスティバルが重なりましたが、皆さまのご協力で、どちらも成果を上げることが出来ました。有難うございました。

12月は同封のちらしの通り「夢広場」が開催されます。大勢の方々のご参加で、盛会となることを期待しています。寒さが厳しくなりますので、ご自愛下さい。

【これからの予定】

- 12月8日(日)「夢広場」10時～16時 市民フォーラム  
移動例会・忘年会夢広場終了後17時30分より(別紙)
- 1月19日(日)「まちカフェ」町田市役所 9時30分～17時

【編集後記】

台風30号でフィリピンが大災害を受けました。世界規模で異常気象、政治不安が拡大しています。10月に訪問したネパールも選挙の実施をめぐって大混乱の様相を見せています。住民無視の政治がこれ以上続くと教育、医療が深刻な状況に陥る不安が増大しています。

S.K